

国立大学法人の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の追加認定について

1. 概況

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」（以下「戦略・意欲」）として、2法人から以下のとおり21件の中期計画について追加（継続）申請があった。

今回申請分については、新規の申請が2件（1法人）、既に「戦略・意欲」に認定されている中期計画の継続認定の申請が19件（2法人）となっている。

現在の「戦略・意欲」の総計画数	747件
今回新規申請のあった「戦略・意欲」の計画数	2件（1法人）
今回継続申請のあった「戦略・意欲」の計画数	19件（2法人）
今回認定後の「戦略・意欲」の総計画数	749件
（参考：全法人の総中期計画数 6,091件）	

2. 認定にあたっての作業方針

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の認定にあたっては、以下（A）～（C）に掲げる要件に合致するかを確認するとともに、原則として各法人の申請内容を最大限尊重するものとする。

- （A）法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの
- （B）取組の重要性を踏まえ、かなり高い数値目標を掲げて取り組むもの
- （C）法人の機能強化に向けて法人の強み・特色を一層強化するため、重点的な資源の再配分を行い、具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの

※ 以下に示すようなケースに該当する場合は、（A）～（C）に掲げる要件に合致しないものとして、認定の対象外とする。

- ① 当該中期計画を戦略性が高く意欲的であると法人が考える理由が判別できないもの
- ② 既に多くの国立大学が取り組んでいる、又は取り組もうとしている事柄・取組に関する中期計画で、特にどのような点が認定の方針A～Cに該当すると考えているのかが示されていないもの
- ③ 法人が戦略性が高く意欲的であると考えた取組・事柄の具体的な内容が不明であり、認定の方針（A～C）に該当するかの判断が困難であるもの

3. 留意点

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」については、達成状況のみを評価の対象とするのではなく、その状況にいたるまでのプロセスや内容を評価することとしていることや、今回申請があった「理由」に具体的な取組や達成指標等を記載しているケースがあるため、前回同様、今回認定する「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の評価にあたっては、「理由」に記載されている取組や達成指標も併せて考慮する。